

山形市

野草園だより 47号



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

野草園には個人で来る方もいれば、団体で来る方もいます。団体で来たときに案内を希望すれば、野草園の担当者が歩きながら案内をしてくれます。

花の名前ばかりでなく、名前の由来や特徴、何に役立つのか等を説明してくれます。「自分達だけで回るより、いろいろな花を見られ、詳しく知ることができて大変楽しかった」と好評です。

尚、日曜日は午前10時からと午後1時から約1時間半のガイドウォーキングをしています。これは無料の案内で、どなたでも自由に参加できます。都合のある方は途中で抜けてもかまいません。ぜひ、ご利用ください。

夏と秋の花

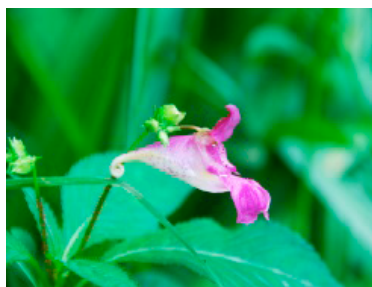
野草園の花達は個性のある美しい姿を見せてくれます。

(名前の由来も姿から、時期から、いろいろです。)



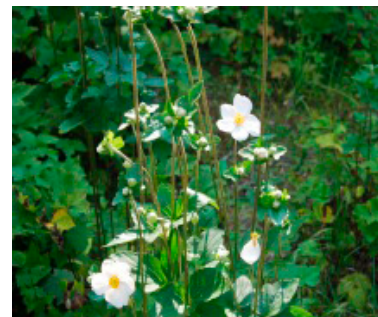
クルマユリ (ユリ科)

名は車百合で、葉が放射状についた点を車にたとえたようです。



ツリフネソウ (ツリフネソウ科)

名は、帆かけ船をつり下げたように見えることからきたようです。



シュウメイギク (キンポウゲ科)

名は、秋に菊によく似た花をつけることによりつけられたそうです。



ノカンゾウ (ユリ科)

「カンゾウ」の名は、漢名の「萱草」を日本語読みしたものです。「野」は野原に生育するといった意味です。



ヒガンバナ (ヒガンバナ科)

花被は6片で細長く外側に反り、雄しべ6本と雌しべが長く出て花被と同色です。名は秋の彼岸頃に花が咲くからです。



ゴールドデンピラミッド (キク科)

和名はヤナギバヒマワリで、花がヒマワリに似て、葉が柳の葉のように見えるからです。



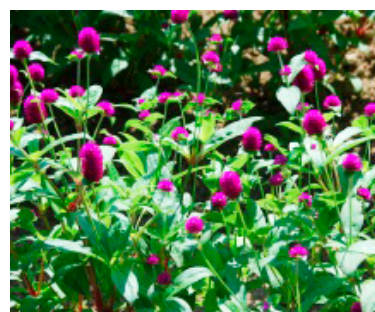
アケボノソウ (リンドウ科)

名は、花の色を明け方の空に、斑点を夜明けの星空に見立てたものです。



ウゼントリカブト (キンポウゲ科)

名は花の形が舞楽の楽人の冠に似ているからです。猛毒で名が知られています。



センニチコウ (ヒユ科)

花は色のついた翼のある2個の小苞に包まれた多数の小花からできています。名は花が長持ちするからです。



ジュウガツザクラ (バラ科)

花は淡紅白色で八重咲きです。名は十月桜で、秋から開花するからです。秋に咲く花は小形です。冬には休んで、また春に咲き始めます。



「秋の七草」を見よう

万葉集にも読まれている「秋の七草」とは次のような花です。それぞれの花がその期間に咲いています。



ヤマハギ (ハギ)
8月下旬～9月下旬



ススキ (オバナ)
8月下旬～11月上旬



クズ
8月中旬～9月上旬



カワラナデシコ
7月中旬～9月上旬



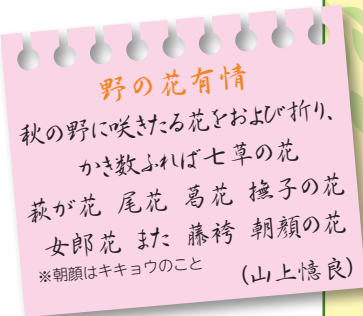
オミナエシ
8月上旬～9月中旬



フジバカマ
8月下旬～9月下旬



キキョウ (アサガオ)
7月中旬～9月上旬

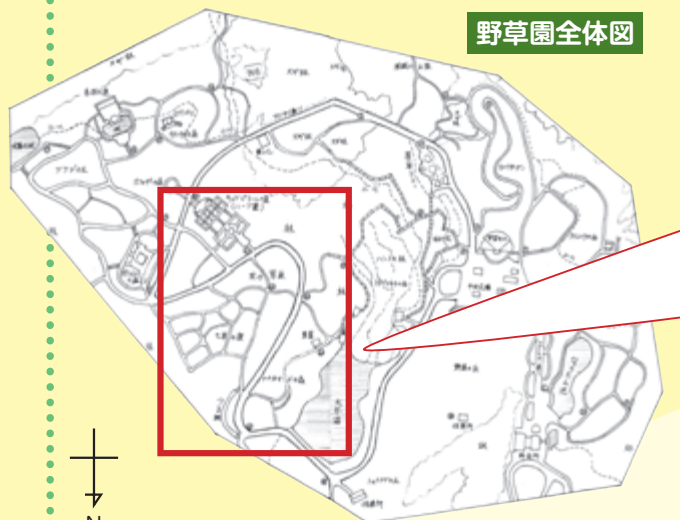


野草園には「秋の七草」の花が植えられており、その場所を「七草の庭」と呼んでいます。

七草の庭

「七草の庭」は野草園内の北東にあります。右図がその庭を拡大したもので、7つの花が植えてあります。

野草園全体図



自然の たくみさ・ふしぎさ

美しい紅葉を見せてくれる 園内のカエデ達

秋になると植物達は冬への準備をします。落葉樹は葉を黄色や赤などに変え、やがて葉を落とします。だから秋は紅葉の季節です。

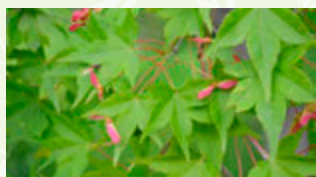
葉の中の緑色の葉緑体が減ってくることにより、含まれていた黄色の色素「カロチノイド」によって黄色になります。また葉柄の付け根に離層という特殊な水分を通しにくい組織ができ、葉で作られた水溶性の糖類が蓄積し、紫外線の影響で赤色の色素「アントシアニン」が作られ赤色になります。そして離層が完成すると葉は落ちてしまいます。

紅葉する落葉樹の中でも美しさで代表的なものがモミジです。モミジの正式名はイロハモミジ（別名としてイロハカエデ）です。裂けた葉先を「イロハニホ・・・」と数えて遊んだことから名前がつけられたそうです。イロハモミジはカエデ科カエデ属です。カエデという名は「蛙手」が語源で、カエデ科カエデ属の植物の葉は特徴のある形をしています。

しかし、中にはチドリノキやミツデカエデのように裂けていない葉もあります。どちらも秋になるとカエデ科カエデ属の植物は美しい紅葉を見せてくれます。園内には下記のようなカエデの仲間達が秋になると美しい紅葉を見せてくれます。



イロハモミジ



ヤマモミジ



カラコギカエデ



ハウチワカエデ



チドリノキ



トウカエデ



ウリハダカエデ



イタヤカエデ



ミツデカエデ

園長日記

～魅力ある野草園の自然～

野草園では、自然と触れ合い、植物を愛し育てる心を育むことで、花と緑あふれる街づくりを願っています。そのためにたくさんの方々を呼びたいと考え、園内の自然に関わる様々な事業に取り組んでいます。幾つかを紹介しますが、西藏王に広がる自然のすばらしさを、ぜひ五感で学び取っていただけたらと思います。

○**四季観察会** 近くの羽竜沼や三本木沼まで足を伸ばすと、季節の動きの中にさらに幾つもの新しい発見や驚きがあります。(写真左)

○**ホタル観察会・星空を見る会** ホタルが飛び交い美しい星空を見上げることができる自然環境は、かけがえのないものです。

○**木工工作教室** 園内の木々を材料に木工作品を作ります。夏休みの人気のある教室です。

○**桜オリエンテーリング** 園内に十数種ある桜にちなんだクイズに答えながら散策します。



お年寄り達・小さな子ども達と野草園

野草園にはたくさんの団体客が来ますが、非常に多いのは老人ホームやデイサービスセンターなどの福祉関係施設の団体です。福祉関係施設のおじいさんやおばあさん達が施設のワゴン車で来ます。しかし、おじいさんやおばあさん達は足が不自由な方もおり、広い野草園を歩いて見るわけにもいきません。それで先導車には案内の担当者が乗り、そのワゴン車に乗ったまま園内を見て回ります。(写真右)

福祉関係の団体には車での見学を特別に許可しています。

見た後は、園内にある学習センターのピロティでお茶会をしてくつろぎます。季節の花ものを見ると同時に大自然に触れ、気分転換を図ることを目的に来ているようです。

次に多いのは保育園や幼稚園、小学校低学年の遠足の団体です。3歳児から5歳児、小学校1・2年生の子ども達が、担当者に案内をしてもらいながら、年齢に応じた花の観察を行っています。その後は、芝生一面の広い「野草の丘」で昼食をし、遊び回っています。芝生は良く手入れされ、トイレもあり、園内は安全に管理されていますので遠足に最適です。教育や福祉関係の団体は減免申請を行えば、入園料は無料になります。(写真下)



野草園の 催し物 スナップ

山野草の育て方教室



そば打ち体験



乗馬体験



工作体験



やまがた舞子撮影会

野草園の主な催し物

《8月～11月》

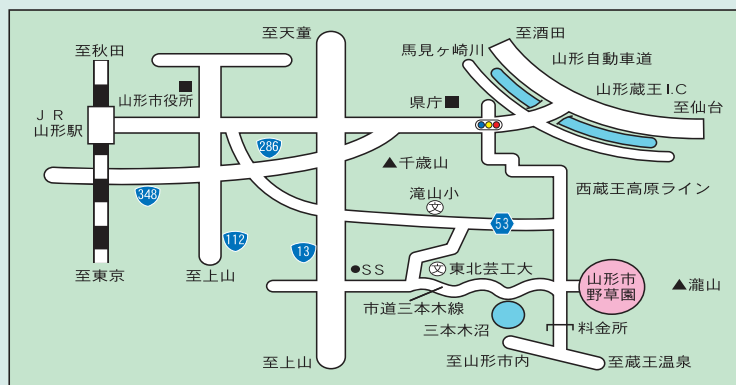
- ◆ガイドウォーキング 毎週日曜日
(9月は毎週土曜日にも実施します)
- ◆木工工作コーナー
…7月29日(火)～8月17日(日)
- ◆木工工作教室
…8月2日(土)・8月9日(土)
- ◆親子そば打ち体験
…8月2日(土)
- ◆プリザーブドフラワー教室
…9月6日(土)
- ◆ボタニカルアート作品展
…9月7日(日)～9月21日(日)
- ◆ボタニカルアート教室…9月13日(土)
- ◆山野草の育て方教室…9月23日(火)
- ◆きのご写真展
…9月23日(火)～10月13日(月)
- ◆秋の野草園祭り
…9月27日(土)・9月28日(日)
 - ・ミニSL運行……………27日
 - ・工作体験……………27日
 - ・乗馬体験・餅つき大会……28日
- ◆そば打ち体験
…10月4日(土)・10月11日(土)
- ◆紅葉オリエンテーリング
…10月11～13日、18・19日、25・26日
- ◆ハーブリース作り……10月12日(日)
- ◆焼き芋……………10月13日(月)
- ◆写真コンテスト入賞作品展
…10月18日(土)～11月9日(日)
- ◆星空を見る会……………10月24日(金)

《開園時間等》

- ・開園時間
4月～5月 9:00～16:30
6月～8月 9:00～18:00
9月～11月 9:00～16:30
- ・休園日／毎週月曜日
ただし、月曜日が祝日・休日の場合はその翌平日
※4月の第3月曜日から6月の第2月曜日まで休まず開園します。
- ・冬期間休園／12月～3月
- ・入園料／大人：300円 高校生以下：無料
◆団体割引（20人以上の場合）
大人：240円 高校生以下：無料

《交通案内》

- ・JR山形駅より山形交通路線バス蔵王・野草園行き終点下車(約30分)
- ・山形自動車道蔵王ICより蔵王高原ラインを蔵王温泉方面へ(約15分)
- ・滝山小・芸工大方面より岩波経由又は、ヒルズサンピア方面より市道三本木線経由で国道13号線から(約10分)



野草園だより

編集・発行／山形市野草園



47号／平成26年7月発行（年2回発行）
〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3
TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

野草園のホームページ
<http://www.yasouen.jp>